

NO. 1

日 本 電 波 塔

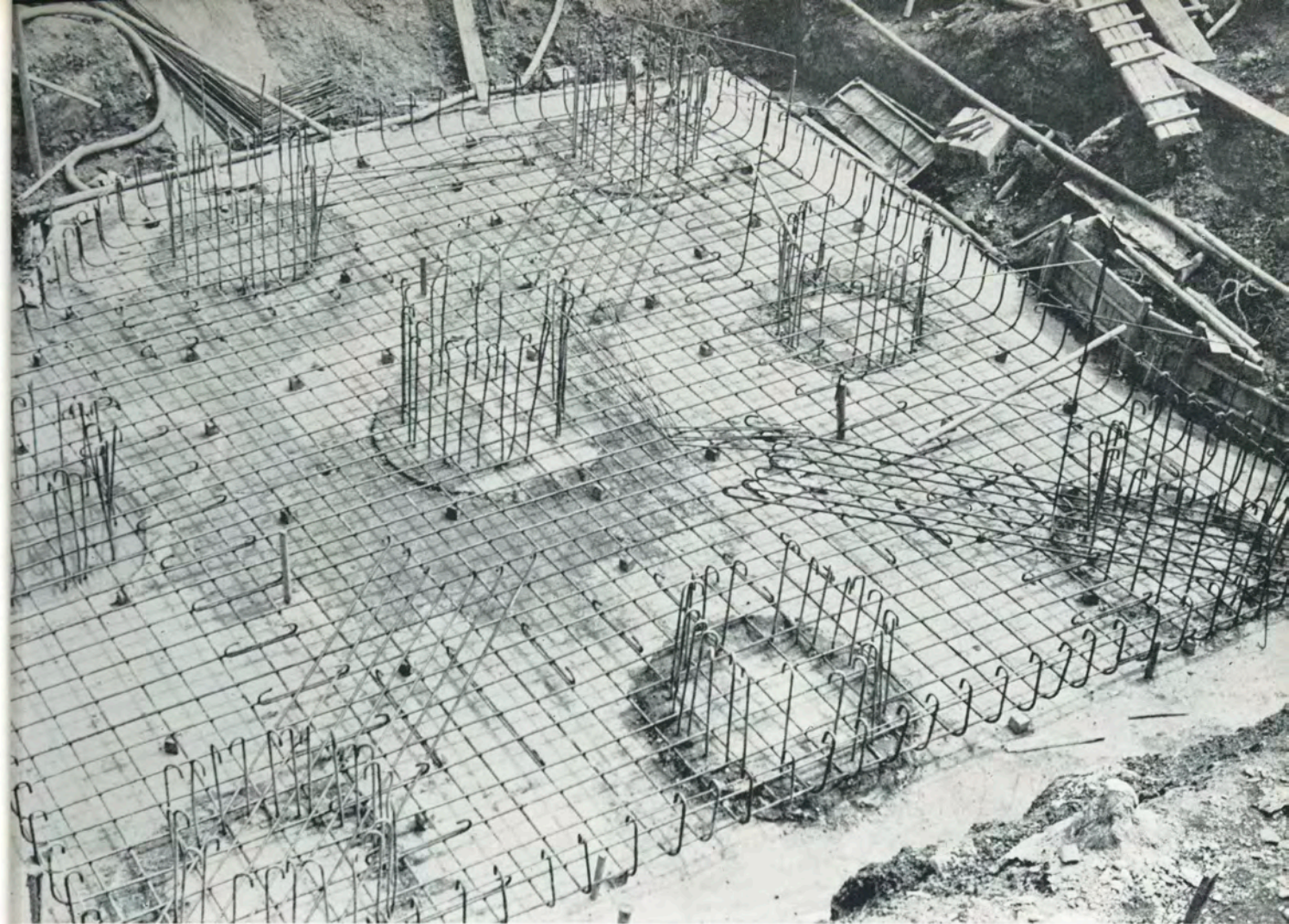
所在地 東京都港区芝公園
設計指導 内藤多仲
設計監理 日建設計工務株式会社
施 工 株式会社 竹中工務店
竣 工 昭和32. 6. 29~33. 12. 23
(1年6ヶ月間)

選 評

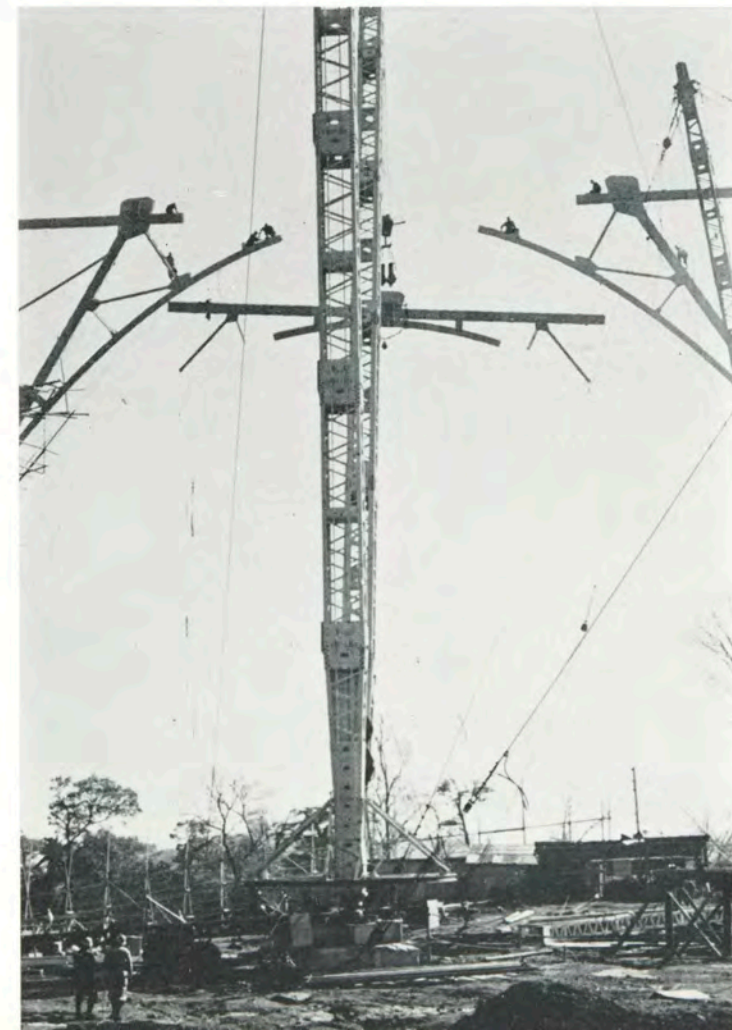
谷 口 吉 郎

地上 333 メートルの高い鉄塔工事の完成は日本の建設史に於ける画期的な業績である。これは参加技術者の緊密な協力によるもので、しかも工期が一年半という短期であることは特記に値する。更に無事故に近い記録による完工は、この工事の関係者一同の誇りとするのであろう。

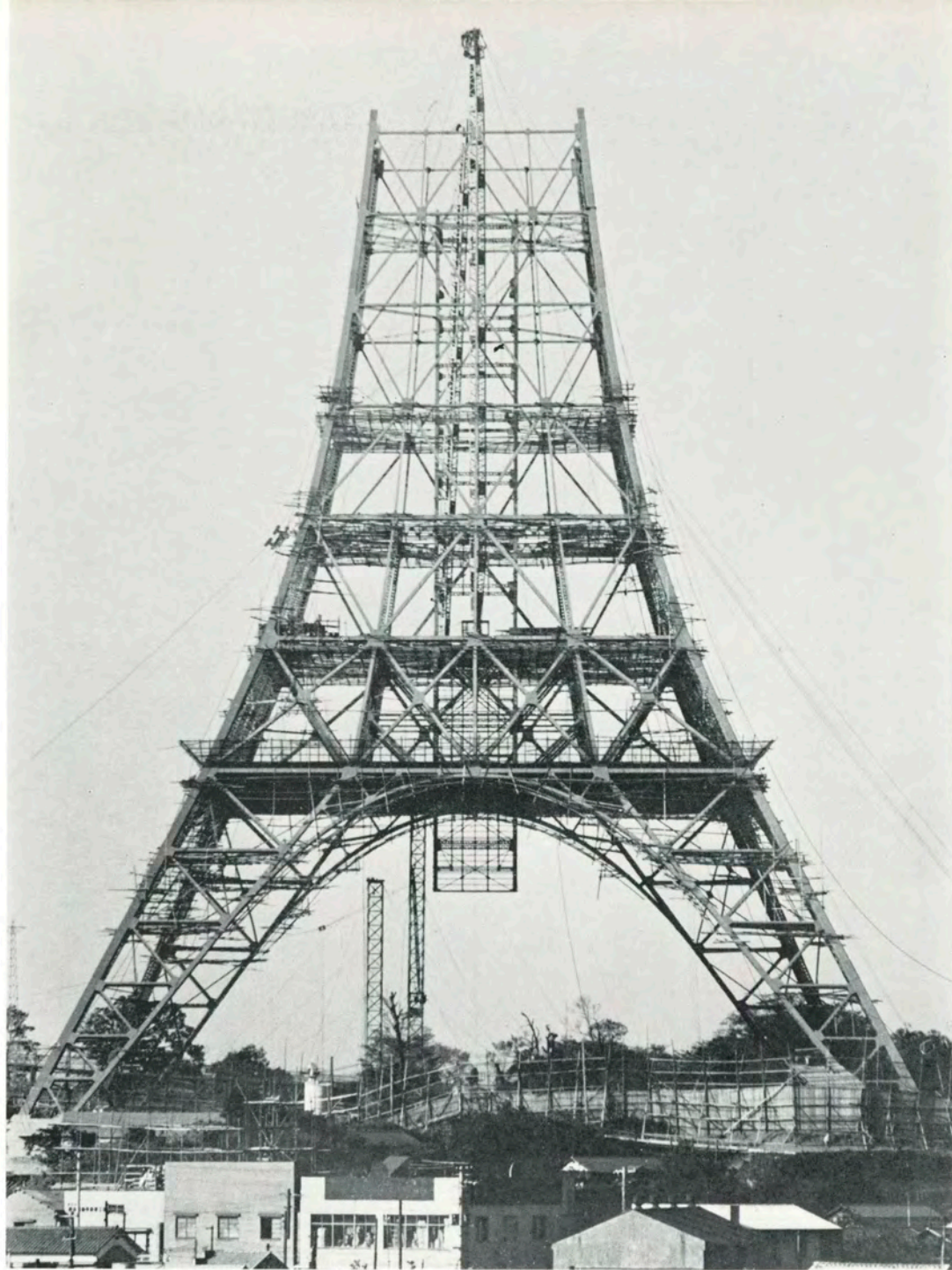
本工事は昭和32年 6月29日着工、翌年12月23日竣工、基礎は深礎工法により、鉄材の使用料4000トン。風圧や地震による震動に対する安全度を考慮し、放送用アンテナの共同使用を目的とするほかに、地上 120 メートルの高さに展望台を設けて広く一般国民に親しまれている。特に頂上のアンテナの据えつけ工事は初めての工法によるもので、地上においてあらかじめ八個の部分に分割されたアンテナは、鉄塔本体上に設けられた仮設塔頂部と地上をつなぐケーブル及びキャリアーによって、最下部部分より上部部分へと順次に引きあげられて、鉄塔内で組み立てられた。かくして一本となった全長94メートルのアンテナは、その下部にとりつけられたカウンターバランスウェートを利用して、垂直につりあげられ、鉄塔頂部に設置されたのである。このような新工法を考案し、それを地上の遥か高所に於て施工し得た決意と努力の技術的成果は、多くの困難を克服した参加業者の協力と共に賞讃に値するものと信ずる。



32.8.23 基礎配筋



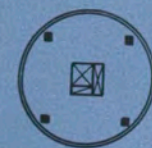
32.12.5 アーチ結合



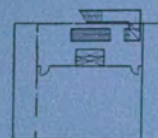
33. 4. 25 鉄塔高さ 90 m 附近ガイデリック最後の勤め



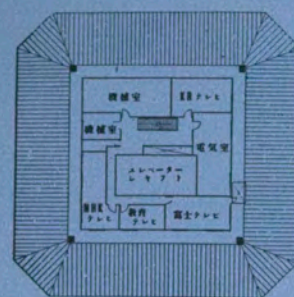
7.15 地上 200 m 附近
鉄塔建方中



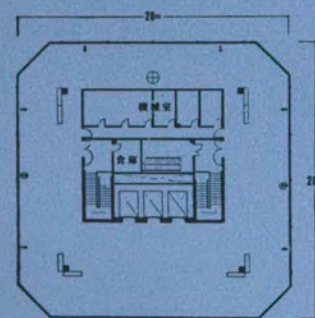
作業台



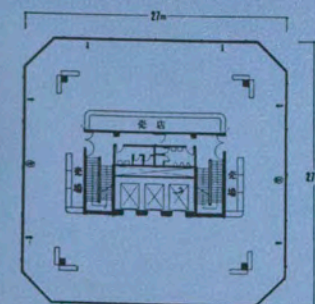
エレベーター機械室



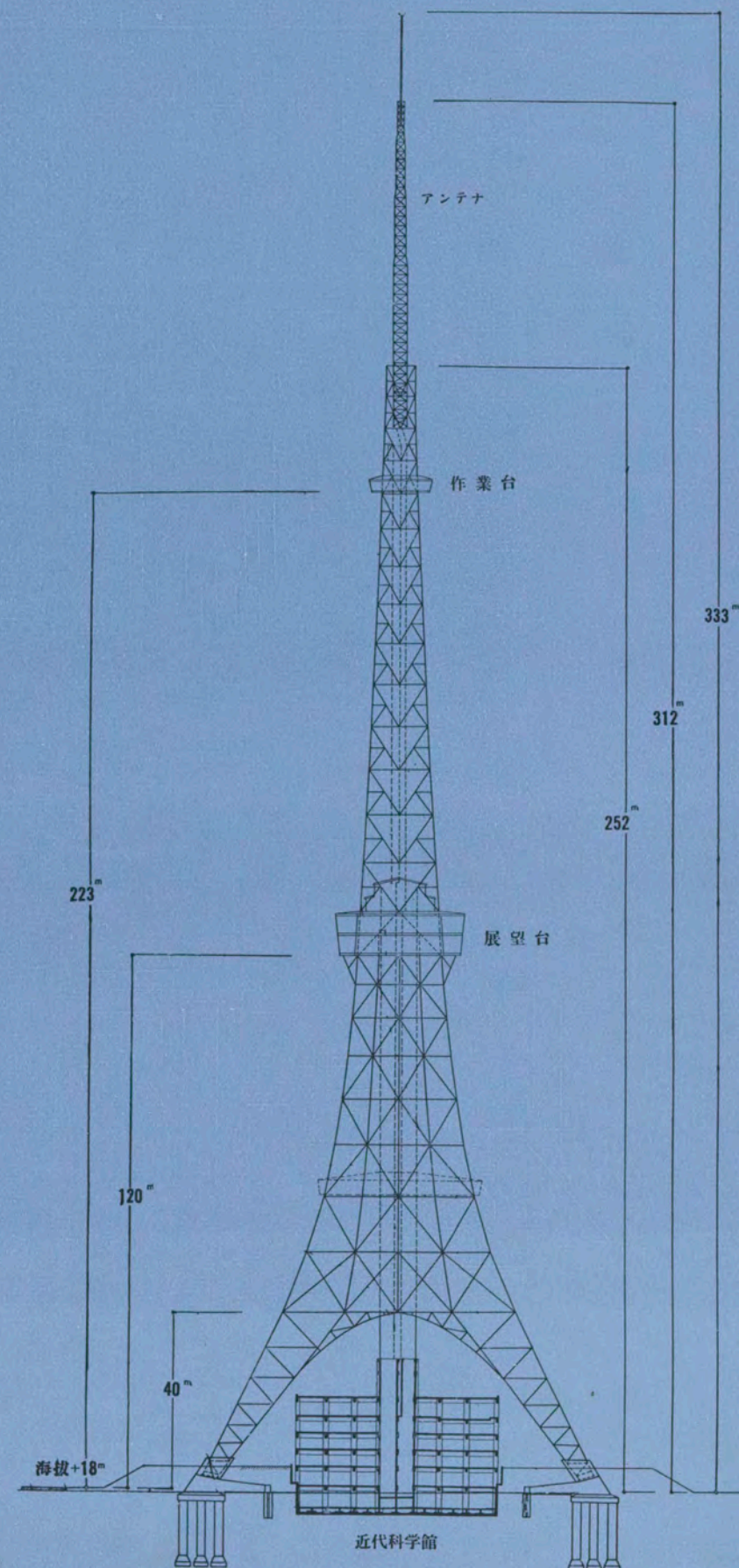
無線通信機室

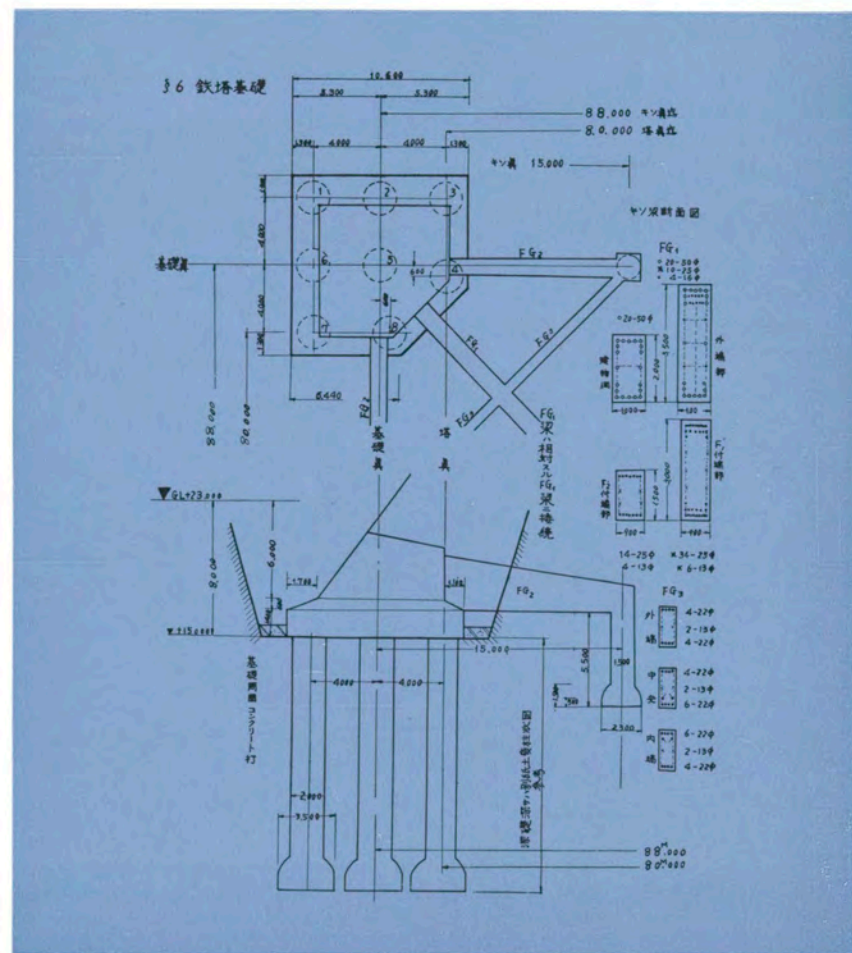
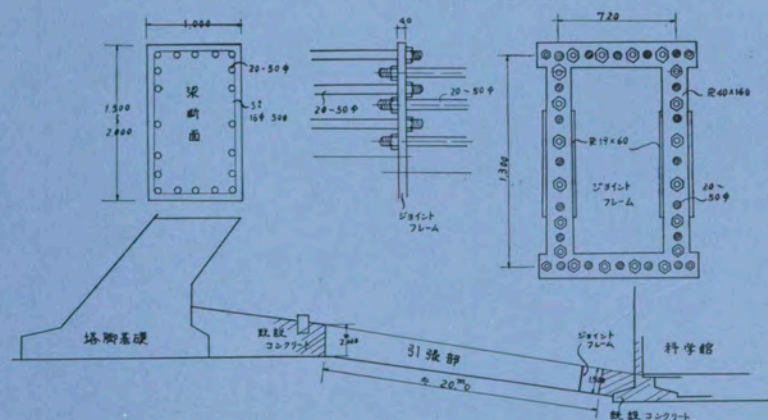
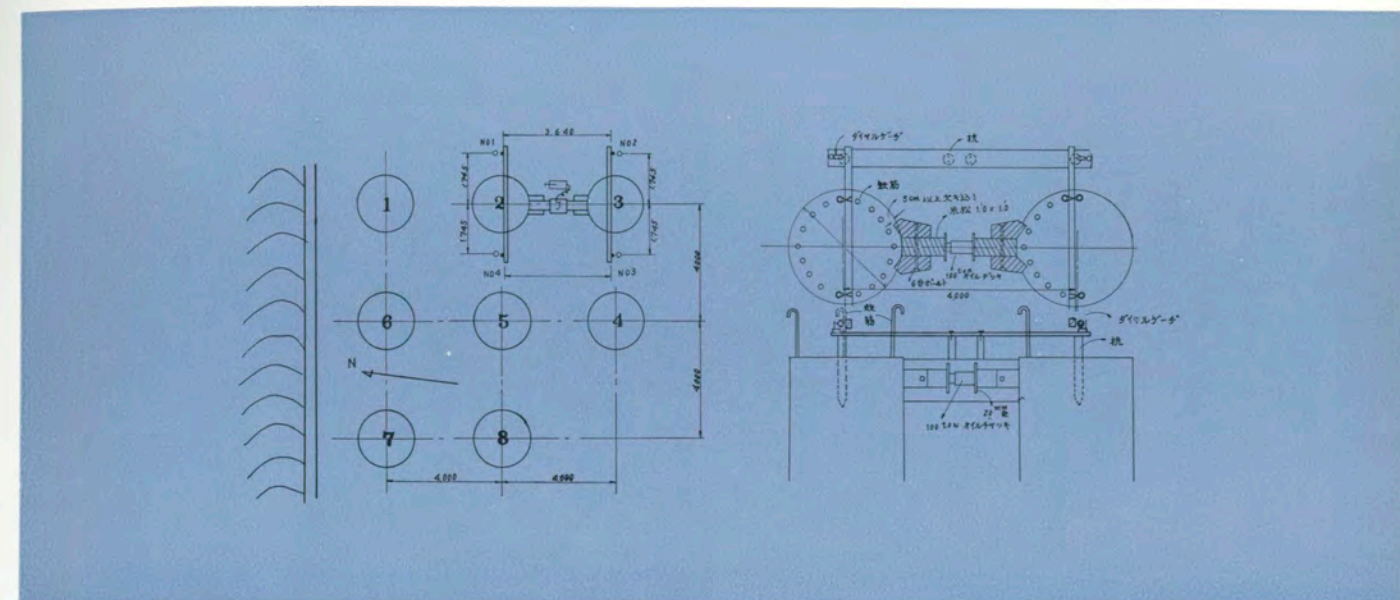


展望台第 2 層



展望台第 1 層





工 事 概 要

名 称	日本電波塔株式会社 鉄塔及科学館新築工事		
所 在 地	東京都港区芝公園 20 号 1 地番 (東経 139°44'55" 北緯 35°39'20")		
敷 地 面 積	21,002.810m ²		
工 期	着工 昭和 32 年 6 月 29 日 竣工 昭和 33 年 12 月 23 日		
鉄 塔 の 部 構 造 高 さ	基礎 鉄筋コンクリート深礎工法, 塔体 鉄骨造 標準 G. L より 避雷針頂部迄 333m		
各部高さ及面積	高 さ	面 積	
展望台第 1 層	標準 G. L より 120.540m	711.00m ²	
展望台第 2 層	" 125.180	762.34	
無線機械室	" 130.600	231.04	
エレベーター 機械室	" 133.570	125.28	
機 械 計		1,829.66	
作 業 台	標準 G. L より 223.956	132.62	
上部エレベーター 機械室	" 231.656	8.99	
機 械 計		141.61	
エ レ ベ ー タ ー 設 備	A 号機 (展望台用) 22人乗 3 台 直流可変電圧ギャレスカーキックコントロール 容量 2,000kg 90m/min 及 120m/min 切換 昇降行程 123.5m 全高 134m		